

尿・糞便等一般検査

General Examination of Urine, Feces, etc.

生命：L1-33311MS

医療科目 3年／前期 2単位 選択必修科目

科目責任者 宿谷 賢一(非常勤講師)

■教育目的

一般検査学は、血液以外の体液全般(尿、髄液、穿刺液、胃液、十二指腸液、喀痰、糞便等)を取扱う。髄液検体等の臓器に特化した検査もあるが、尿検体は全身性に関連する検査であり、医療機関での診療前のスクリーニング検査に位置づけられている。一般検査学はクリニックから大学病院までの臨床検査室で必ず実施されている検査である。「一般検査」と呼ばれ、血液以外の体液全般の検体について化学的検査法と形態学的検査法の両検査を用手法と簡易機器を用いて実施している。また尿検査や糞便検査は、各種の健康診断でも実施されている。

【卒業認定・学位授与の方針：SD-① SD-② SD-③】

■学習到達目標

1. 尿一般検査の重要性について説明できる(知識、技能)
2. 尿の生成過程について説明できる(知識)
3. 尿検体の取り扱い方及び尿定性検査(分析)方法を説明できる(知識、技能)
4. 各尿検査試験紙の検出原理、検査法の特徴、保管・管理法等を説明できる(知識、技能)
5. 尿中への各成分出現の機序と基準値及び各検査項目の臨床的意義を説明できる(知識、技能)
6. 尿と血液以外の体液の各成分出現の機序と基準値及び各検査項目の臨床的意義を説明できる(知識、技能)
7. 血液以外の体液の処理、保存方法について説明できる(知識、技能)

■準備学習(予習・復習)

予習：教科書・参考書の記載に目を通しておくこと(30分以上)

復習：授業資料を再視聴し授業内で触れたキーワードを中心に発展的に自分でノートをまとめる(10分)。の臨床検査技師国家試験の当該領域に目を通し理解しておくこと(10分)。

■授業形態

講義

■授業内容

血液以外の体液全般の検体について化学的検査法を中心に学修し、併せて各種検体の採取・保存法、臨床的意義についても学ぶ。

No.	項目	授業内容	学修／SBOコード
1	一般検査の意義	1. 一般検査学Ⅰ(生物化学分析)ガイダンス 2. 尿一般検査の重要性 3. 尿の採取と取り扱い	
2	尿検査の基礎	1. 腎臓の解剖と役割 2. 尿の生成と成分 3. 採尿方法・採尿時間・採尿容器	
3	尿定性検査 1	1. 尿試験紙 その1	
4	尿定性検査 2	1. 尿試験紙 その2	
5	尿沈渣検査 作製法	1. 尿沈渣成分の検出と臨床的意義 2. 尿沈渣標本の作製手順と鏡検法、成績の記載 3. 尿沈渣染色法	
6	尿沈渣検査 血球類	1. 尿沈渣にみられる赤血球(糸球体型赤血球、非糸球体型赤血球) 2. 尿沈渣にみられる白血球、大食細胞	
7	尿沈渣検査 上皮類 1	1. 尿沈渣にみられる尿細管上皮細胞 2. 尿沈渣にみられる尿路上皮細胞、扁平上皮細胞	
8	尿沈渣検査 上皮類 2	1. 尿沈渣にみられる変性細胞、ウイルス感染細胞 2. 尿沈渣にみられる異型細胞	
9	尿沈渣検査 円柱類	1. 尿沈渣にみられる円柱の生成機序 2. 尿沈渣にみられる各種円柱と臨床的意義	
10	尿沈渣検査 結晶類・微生物類	1. 尿沈渣にみられる微生物類、寄生虫類 2. 尿沈渣にみられる結晶成分	
11	尿沈渣検査 まとめ	1. 尿沈渣検査の自動化 2. 尿沈渣検査による臨床病態推論	

No.	項目	授業内容	学修／SBOコード
12	髄液検査	1. 脳脊髄液の産生・循環・吸収・機能、脳脊髄液検査の意義 2. 脳脊髄液の細胞数算定・分類、脳脊髄液検査データの評価	
13	穿刺液検査 1	1. 穿刺液検査の検体取り扱い 2. 穿刺液検査の一般的性状 3. 穿刺液検査の化学的検査	
14	穿刺液検査 2	1. 体腔液の検査、CAPD廃液検査 2. 関節液の検査、精液の検査、その他の体液の検査	
15	一般検査学 まとめ	1. 一般検査結果から考える病態 2. 総括	

■ 授業分担者

宿谷 賢一(非常勤講師)(No.1～15)

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

課題 100 % (課題提出をもって出席確認を行う。課題内容にて成績評価する。)

■ 教科書

「最新 臨床検査学講座 一般検査学」宿谷賢一編著(医歯薬出版)

■ 参考書

自作講義資料等